



Keio University

1858

CALAMVS
GLADIO
FORTIOR

2025年度 慶應義塾大学薬学部公開講座
第2回がんプロフェッショナル研修会

がん薬物療法における 薬薬連携と地域連携

ー病院と薬局の薬剤師が共同して薬物療法をサポートするー

近年、急速に高齢化が進み、在宅医療が広がるにつれて、病院と薬局の薬剤師が協力し、患者さん一人ひとりの薬物治療に貢献する「薬薬連携」の重要性が高まっています。特に、がん治療における薬薬連携は、入院中から退院後の服薬状況の把握と副作用の早期発見、そしてそれらを病院と薬局とで情報共有することにより、がん薬物療法を安全で効果的に継続するためには不可欠なものとなっています。

本講演では、がん治療における病院と周辺薬局との連携や、地域での医療職連携などに積極的に取り組む好事例を紹介して頂き、がん患者やその家族を支える仕組みについての理解を深め、より良いサポート体制の構築の一助となることを目指しています。

講師 大登 剛 (上尾中央総合病院 薬剤部)

9/28(日) 9:50-12:50 〈Web開催〉



申込方法

左記QRコードよりお申込みください。
申込期日：9/15(月・祝)

受講料

2,600円

取得可能
単位

生涯研修認定単位…………… 2単位 (G04 慶應義塾大学薬学部)

外来がん治療認定薬剤師… 2単位 (日本臨床腫瘍薬学会)

がん薬物療法認定薬剤師… 1.5単位 (日本病院薬剤師会)